



日本学術会議公開ワークショップ

Future Earth と学校教育： Co-design/Co-production をどう実践するか (II)

平成 29 年 5 月 15 日 (月) 14 時 00 分～17 時 00 分

- 主 催** 日本学術会議フューチャー・アースの推進に関する委員会持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会
- 場 所** 日本学術会議大会議室(東京都港区六本木 7-22-34, 地下鉄千代田線乃木坂駅青山霊園出口)
- 申 込** 事前の申込は不要です。会場に直接おいでください。参加費は無料です。

持続可能な社会を目指す国際プログラム Future Earth では、科学と社会の協働による Co-design, Co-production の推進が強く求められています。その Future Earth の理念を具体化する学校教育はどのように進めればよいのでしょうか。本公開ワークショップでは、5 名の講師と 6 名の高校生の報告をもとに、様々な可能性について議論を深めます。中学生以上ならだれでも参加し、発言できます。

プログラム

総合司会：宮寺 晃夫（日本学術会議連携会員、筑波大学名誉教授）

14:00～14:10 開会挨拶、趣旨説明

氷見山幸夫（日本学術会議第三部会員、北海道教育大学名誉教授）

14:10～14:25 人材育成における科学コミュニケーション能力の推進

毛利 衛（日本学術会議連携会員、国立研究開発法人科学技術振興機構日本科学未来館館長）

14:25～14:40 次期学習指導要領におけるアクティブ・ラーニング

井田 仁康（日本学術会議連携会員、筑波大学人間系教授）

14:40～14:55 瀬戸内海の海底ごみ問題の解決に向けての女子中高生の挑戦

井上 貴司（山陽女子中学校・高等学校教諭）

14:55～15:15 生徒の学習効果を高める授業改善～アクティブ・ラーニング～

佐々木義秀（東京都立科学技術高等学校教諭）

野中駿、清水美佑、小山麟(2年生)：構造物による波の変化について～海岸浸食の防止へ～

15:15～15:50 ディスカッション (I)

司会：山口しのぶ（日本学術会議連携会員、東京工業大学学術国際情報センター教授）

15:50～16:00 休憩

16:00～16:20 持続可能な社会に関わる研究に関わる授業実践

田中 義靖（東京都立戸山高等学校教諭、SSH 部主任）

齋藤絵夢(2年生)：空気中の二酸化炭素からつくる消火剤

田之畑有紗、山本愛琳、河口祐葵(2年生)：持続可能な微生物燃料電池開発

16:20～16:55 ディスカッション (II)

16:55～17:00 閉会挨拶

花木啓祐（日本学術会議副会長・第三部会員、東洋大学情報連携学部教授）



毛利 衛 井田 仁康 井上 貴司 佐々木義秀 田中 義靖

問い合わせ先：氷見山幸夫 北海道教育大学名誉教授
E-mail: himiyamay@kkd.biglobe.ne.jp